

託児所利用者からの声が届きました。以下に掲載します。

(1) 続けて行った方がいい点：

女性会員も徐々には増えているので、託児について数理生物学会は前向きである事を意思表示をしていただければ、いざという時は託児に補助をしてもらえるという安心感があります。

例えば数理生物学会のHPに「男女共同参画への取り組み」に関するページを作って、託児に関する今回のノウハウ（会社名、費用、（HPに掲載しても問題が無いのでしたら）学会での負担額、個人の負担額（700円/h）など）を掲載して、皆で情報をシェアしてはどうかと思います。次期開催校への参考にもなりますし、子連れで参加を検討している人への参考にもなります。また、他の学会の参考資料にもなります。

今回の措置「子どもを連れて参加する人の発表申し込みを延期した」というのは非常に良かったです。小さい学会だからこそ参加申し込みの延期が出来た事とはいえ、子ども連れの参加の場合はなかなか早めに参加の決断が出来ないので。

これからも小さい学会のメリットを生かして、融通の効く託児運営をお願いします。

(2) 改善出来れば改善した方がいい点：

今回の託児については得がありません。

今回は試行錯誤されていたのでアナウンスが遅くなったというのはよくわかります。

次回大会からは託児所の設営に関する連絡を早く周知していただければ有り難いです。

(3) その他：

今回の託児所で利用したベビーシッター会社はとても融通の効く、利用料金もおさえである、良心的な会社でした。お昼寝用のタオルも無料で貸していただけました。おむつも足りないときは無料で貸していただけました（実際は自前のおむつで足りましたが）。また、うちの子だけ預かっている時間帯には、子ども1人なら外に連れて行っても対応出来るという事で、（私の許可をと

ってからですが) 外へ遊びに連れて行って下さいました。人数が少ない事もあり、お弁当もシッターさんが食べさせて下さいましたし、託児の場所で私と子どもが一緒にご飯を食べるのも許して下さいました。

首都圏での開催では、良心的で利用料金もおさえてあるシッター会社を探すのは至難の業です。首都圏で開催されるときは対策を考えなければなりません。